

CEMEDINE REPORT

第87期 事業報告書

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日

コロナ禍の厳しい環境が続く中で、
創業以来の過去最高益を達成。
『つけるが、価値。』をさらに創出しながら、
社会課題解決に貢献し、
サステナブルな成長を目指します。



代表取締役社長
天知 秀介

📌 当期の事業環境について

依然厳しい社会経済情勢の中で 感染防止と企業活動を両立

昨年来の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な拡大は、国内外の社会と経済に深刻な打撃を与えました。今年に入ってから欧米を中心にワクチン接種が進み、一部の国や地域では段階的に経済活動が再開されつつあるものの、国内では各地で感染の再拡大が進んでおり、依然として予断を許さない状況が続いています。

緊急事態宣言の発出などで企業収益や雇用環境が悪化し続ける中、当社グループでは前期同様、取引先関係者や従業員と家族の健康と安全を最優先に考え、テレワークや時差出勤などを通じて、引き続き感染防止と企業活動の両立に努めてまいりました。

幸いにも国内では工場稼働や営業活動の停止、サプライチェーンの断絶といった事態は避けられましたが、事業環境としては建築土木関連市場や工業関連市場の落ち込みを受けて、特に上半期は厳しい状況が続きました。

2021年3月期連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり配当金
2021年3月期 実績	25,759百万円	1,522百万円	1,518百万円	1,063百万円	10円(年間)

📌 当期の業績について

コスト削減と高付加価値製品の 伸長などにより過去最高益を達成

前述のとおり、当期の上半期はコロナ禍に伴う関連業界の景気低迷のあおりを受けて当社グループの業績も大幅に落ち込みましたが、その中で一般消費者関連市場ではDIYの巣ごもり需要を取り込むことで昨年を上回る営業成績となりました。

そして大きく潮目が変わったのが上半期終盤の8月末です。この時期を境に国内ハウスメーカーや自動車メーカーなどの稼働率が回復したほか、中国市場における電子機器・部品向けの需要なども復調し、当社業績も一気に改善に向かいました。

当期は製造原価の低減のほか、グループを挙げての徹底的なコスト削減への取り組みや、リモート会議活用による出張自粛などにより各種経費が減少しました。また、かねてより計画していた付加価値の高い製品の販売が下半期から伸びることにより収益を押し上げました。

この結果、当期業績は売上高が257億59百万円(前期比6.9%減)、利益面については、営業利益が15億22百万円(同24.4%増)、経常利益が15億18百万円(同29.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億63百万円(同33.5%増)となり、過去最高益を達成しました。

かつて負の影響を受けたリーマンショックの際も当社業績の落ち込みは限定的でした。理由としては、当社製品は様々な産業分野で使用されており、広範にわたるユーザーによって支えられたからと分析しております。今回のコロナ禍でも主要3分野が支え合うという特徴が活かされたと感じています。

しかしながら、当期は過去最高益といえども事業の推進力とも言うべき売上高は前期比で減少しているということをしつかりと受け止めて、その上で今後も更にグローバル市場での拡大を進めること、付加価値の高い製品群の販売を伸ばしていくことでサステナブルな成長につなげていきたいと考えております。

📌 今後の事業戦略について

売り上げの拡大、 収益力の強化を目指して

当社グループは毎年度ローリング方式で更新する中期計画を策定しています。新年度の「中期計画2021」の中で成長に向けての課題の中から以下の3つをご紹介します。

まずは「グローバル市場での事業拡大」という課題です。これまでコーポレート部門であった「グローバル企画部」を4月より工業営業部内の「グローバル推進グループ」とする組織改編を行いました。この狙いは、自動車や電機・電子部品向け

トップインタビュー

製品が主力となる海外事業において、地域という垣根を越えて迅速に情報を共有化して戦略を打ち出していくという事業展開のスピードと効率性を高めたいと考えたからです。また、当社の親会社である株式会社カネカの海外拠点を有効活用して海外展開をさらに加速させていきます。

次は「技術開発とマーケティングが牽引するサステナブルな成長」という課題です。当社ではまず、研究開発の成果をいかにマーケットでの実績につなげられるかという観点から開発テーマを再評価し、多数あったテーマを2/3程度まで絞り込みました。加えてステージゲート管理という手法を導入して、開発テーマの進捗度を可視化してそれぞれのステージでPDCAを回し、その上でテーマをタイムリーに入れ替えてまいります。一方で当期から行っているマーケティング研修の対象を広げ今後も継続的に実施することで、市場と接する

現場においてマーケティング感性を高め、技術開発とマーケティングが緊密に呼応し合えるような体質に変革していきます。

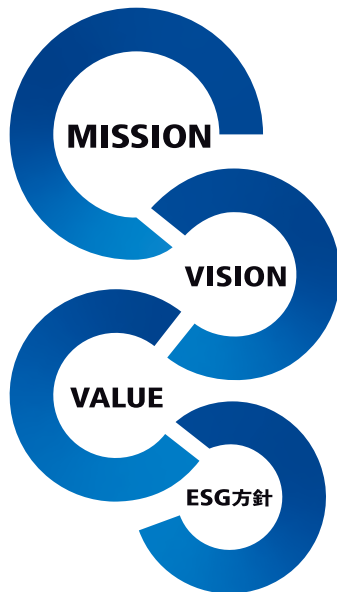
最後は、「事業の収益力強化」という課題です。より付加価値の高い製品や成長市場への経営資源の再配分や、生産拠点間での生産品種振替やプロセス集約によるコスト合理化、業務改善とデジタル化などを推進し事業ポートフォリオ改革を積極的に進めます。

ESG (環境・社会・企業統治)に関する取り組みについて

製品とソリューションを通じた 環境や社会への貢献を目指して

2020年10月、当社グループは企業活動の基本とすべきも

マネジメントストラクチャー



つけるが、 価値。

つけることを通じて、新しい価値を生み出し、世の中の課題に答えを出す。

モノとモノ、コトとコト、ヒトとヒトをくっつけて、テクノロジーの進歩や豊かな社会の実現につなげる。

驚きや感動を届けよう。
不可能を可能にするアイデアと、暮らしに役立つ技術によって、まだ見ぬ驚きや感動を届けていく。

成長につなげよう。
創造力と生産性の向上によって、新たなビジネスをつくりあげていく。自分の成長、そして会社の成長につなげる。

挑戦を楽しもう。
お客様のために、そして世の中のために、決してあきらめず、前向きに、どんなことも面白がってやってみる。

誠実に取りくもう。
世の中のことをしっかりと考え、環境にやさしく、安全なものづくりを通して、より良い製品を提供する。

セメダイングループは、社会課題にソリューションを提供する接着剤メーカーとして、持続的な成長により企業価値を高め、より良い未来の創造を目指します。

- ・地球環境との共生
- ・人材育成とダイバーシティの推進
- ・地域や産業の発展への貢献
- ・ガバナンスの強化

のとして「マネジメントストラクチャー」を制定しました。今後はここに定めた「ミッション」、「ビジョン」、「バリュー」、「ESG方針」と同じベクトルで、全社、部・グループ、チームそして個人の目標を設定し、追求していきます。

中でも今後注力していきたいのが、「世の中の課題に答えを出す（ミッション）」、「テクノロジーの進歩や豊かな社会の実現につなげる（ビジョン）」と謳っている様に、世界的な課題となっている「カーボンニュートラル」につながるような環境配慮型製品の積極的な開発です。

当社の製品自体がバイオマスマークを取得できるような開発をしたいと考えています。また、当社の製品がお客様にソリューションを提供することで貢献できると考えています。例えば、従来は大きな熱量をかけて圧着していたものを常温で接着できる製品に置き換えられれば、お客様において不要となる熱量分のCO₂を削減できます。このように当社のビジネスは本来、製品とソリューションでお客様に新しい価値をお届けし、さらにその価値で環境にも貢献しながら、同時に会社としての成長を追求していける事業です。

しかも、それは新製品開発だけに限った話ではなく、既存製品を新たな用途で活用したり、新たな分野、新たな顧客、新たな国や地域に提案することで、「不可能を可能にしたり、驚きや感動を届ける（バリュー）」ことができます。これまでとは違うかたちで新たな価値を生み出すことは決して珍しいことではありません。

具体的には、南極・昭和基地内で昨年実施されたJAXA（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構）などによる「南極移動基地ユニット」の実証実験では、将来の月面基地や未来志向の住宅を視野に入れた基地ユニットの外装の目地材として、耐候性に優れ、建築物の長寿命化に貢献する当社のシーリング材「セメダインEXCEL II」が採用されました。こうした挑戦が示すとおり、「つけること」に秘められた大きな可能性と価値を熟知するエキスパートとして、セメダインが真骨頂を発揮していくのはまさにこれからです。

☑ 株主様へのメッセージ

きたるべき100周年に向けて もっと『つけるが、価値。』を

当社グループの年間売上高は長らく250億円前後で推移してきましたが、今後この水準を突破して、次のステージにステップアップしていく計画にしております。そのために「いきいきと働く」、「ワクワクして目標に挑戦する」を合言葉に組織風土の改革にも努めております。

なお、当期の期末配当については1株当たり5円とし、中間配当5円と合わせて年間配当は前期と同額の10円とさせていただきます。今後も従来方針どおりの安定配当を継続していくことで、投資家の皆様から評価していただけるよう努めていく考えです。

これからもミッションに掲げた『つけるが、価値。』をさらに創出しながら、きたる2023年の創業100周年に向けて邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



NEWS & TOPICS

採用物件

「LLG工法」が初採用

2021年3月に竣工したタイル張りマンションに、外壁の長寿命化を目的として「タイルアジャスト工法」と「セメダインEXCEL II」とを組み合わせた「LLG工法」が初めて採用されました。

「タイルアジャスト工法」とは、有機系接着剤（タイルエースProシリーズ）と有機系下地調整塗材（タイルアジャストシリーズ）とを組み合わせたタイルの剥落防止工法です。この工法を用いて張られたタイル外壁は、10年毎の外壁診断調査の際に各階1か所の引張接着試験による確認で済み、全面足場を掛ける必要がありません。また、一般的なマンションの大規模修繕では、この全面足場を利用して、念のため同時に10年目ではまだ健全なシーリング材の打替えも行われます。ここで、タイルアジャスト工法を用いたタイル外壁に、通常のシーリング材の約3倍の耐久性をもつ「セメダインEXCEL II」を組み合わせれば、10年目の打替えも不要になります。

このようなメリットのある「タイルアジャスト工法」と「セメダインEXCEL II」との組み合わせ「LLG工法」により、マンションの大規模修繕工事の延伸が見込め、ライフサイクルコストの低減に寄与できます。今後は、更なる性能の向上に取り組むとともに、タイル外壁の劣化状態と改修時期を判断する基準と調査方法について研究を進めていきます。



展示会

接着・接合EXPOに出展

2020年12月2日～4日の3日間、幕張メッセで行われた接着・接合EXPOに出展しました。今回はコロナ禍ということもあり、お客様に安心してご来場いただくために、アクリルパーテーションを挟んで会話ができる相談スペースを設けるとともに、バーチャルブースを活用し、全国のお客様とオンラインでつながれるコミュニケーションにも努めました。

また、採用事例に基づいたカタログ等の提供を行うことで、より身近にお客様の視点に立って接着剤のPRができました。ご来場いただいたお客様とは「別の物件でセメダインブースに来たが、この採用事例を見る限り、自分たちの製品にも使用できるの



ではないか?』と話が盛り上がることもあり、より深い情報収集と製品提案ができました。

NEW

新製品

電動工具を使わず1分固定！ 「セメダインスーパーXデュオ」

世界のプロ現場からご家庭まで広くご使用いただいております「セメダインスーパーX」シリーズの追加ラインアップとして「セメダインスーパーXデュオ」を2021年3月1日に発



売しました。本製品はわずか1分で固定でき仮止め不要な超多用途接着剤です。また、24時間後は耐水・耐熱・耐衝撃性を兼ね備えた強靱接着となり屋外用途にも対応します。外壁面に取付け固定したい場合もドリルによる穴あけや防水処理などをせず1分で取付け固定できるなど、電動工具を使わず短時間で手軽に強力に固定ができるため、好きな時間・好きな場所で静かにDIYをお楽しみいただけます。

接着剤とビス併用工法による 床倍率の認定取得

開発グループ 研究第四チーム 紺野 誠



度重なる震災等で建築物の耐震性向上の重要性が高まる中、当社は、現場施工型の耐震床工法を開発しました。本工法は専用の接着剤「フロアロックPU1000」と特殊ビスを併用することで、床構造の剛性を高め、耐震性能を向上させます。2016年より開発に着手し、2019年9月に国土交通省指定確認検査機関より接着剤を併用した工法としては国内で初めて、床構造で4.6倍の床倍率の評定(床の強さを表す指標)を取得いたしました。これは、通常のビス留め工法と比較して2倍近い強さになります。

国土交通省:評価方法基準に基づく床構面及び屋根構面に適用する短期許容せん断耐力の評定。

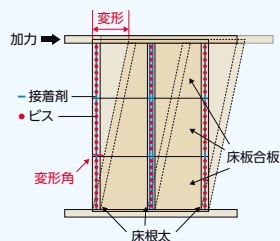
「床構面及び屋根構面に適用する床倍率」及び「木造軸組工法住宅の許容応力度計算」

工法名称	床構面仕様	ビス・ピッチ	床倍率(短期許容せん断耐力)
セメダイン耐震床工法	川の字状	100mm	床構面 4.6倍 (9.19kN/m) 屋根構面 3.9倍 (7.75kN/m)
ビス留め工法	川の字状	100mm	2.7倍

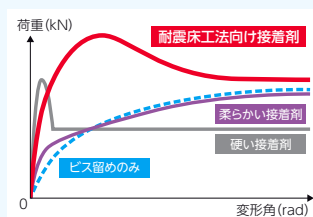
※欧州アカマツ集成材×構造用合板

本工法は、大きな変形に対して粘ることができるビスと、初期の揺れに対する応答性が高い接着剤の両方のいいところを組み合わせることを基本のコンセプトとしています。

実際の床を模した構造を作って実験した結果で説明いたします。左図のように3本の床根太に3枚の合板を貼り合わせて床を作り、下を固定して、左上から力を加えて床を変形させます。



耐震床工法向け接着剤の開発コンセプト



この時の変形角(どれくらい変形しているかの指標)(横軸)とその時の荷重(縦軸)との関係を見たのが右図です。ビスのみで固定した場合(点線)、ビス周りの木材が変形してしまうため、初期の変形に対して抑え込むことができません。一方、接着剤は、地震の揺れにすぐに応答し変形を抑え込むことができます(図のグレーの曲線)。しかし、接着剤を強くして地震に対して無理に抑え込むと、大きな地震に対しては、木材自身が耐えられず壊れてしまいます。これを避けて、柔らかい接着剤を使用した場合(図の紫の曲線)、木材が壊れることはありませんが、肝心の地震に対する抑制効果が発揮できません。そこで、当社は、硬すぎず、かつ柔らかすぎない絶妙なバランスの「フロアロックPU1000」を設計開発しました。このフロアロックPU1000と特殊ビスを併用することによって、図の赤い線のように、最初の揺れを接着剤で抑制しながら、木材が壊れないうちにビスに受け渡し、両者のいいところだけを取り込んだ、地震に対してより安全な床の設計を実現させました。

「フロアロックPU1000」は、一液湿気硬化型のポリウレタン樹脂系接着剤で、混練等が不要なため取り扱いが容易で、安定した性能が得られます。降雨等で床材が湿潤しても十分な接着性を発揮するので、様々な実環境で性能を発揮し、現場施工での適用が可能となりました。また、本工法で使用する特殊ビスは、優れた床引き寄せ効果・耐久性を備えた、「フロアロックPU1000」と適合を最大限に引き出せる専用ビスです。

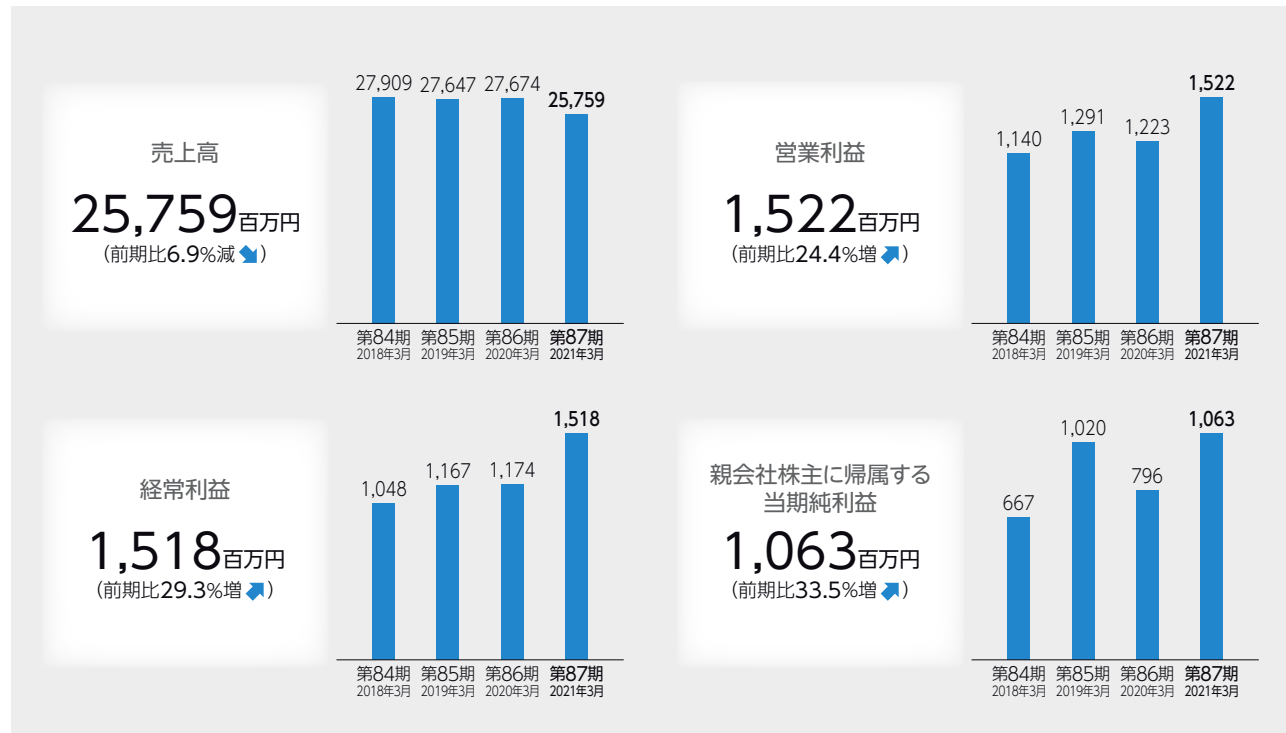
床倍率を大幅に向上させることにより、安全で安心な耐震性能をもつ木造建築物や、より自由度の高い設計の実現に貢献します。大型の施設では、柱のない広い大きな空間を提供することが可能になります。

このようなメリットを軸に、開発した床耐震工法を住宅メーカー、設計事務所、工務店、部材メーカー等へ幅広く展開しております。セメダインでは、今回開発した耐震工法のような新たな技術開発に今後も積極的に取り組むことで、豊かな社会の実現につなげていきたいと考えています。

決算ハイライト

■ 連結財務ハイライト

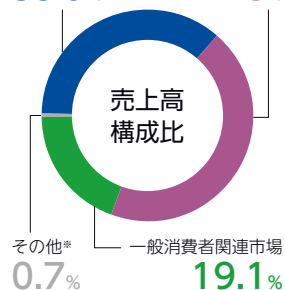
(単位:百万円)



■ セグメント情報

工業関連市場 建築土木関連市場

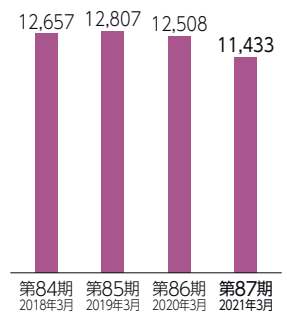
35.9% 44.3%



*不動産賃貸収入132百万円(前期比3.3%増)

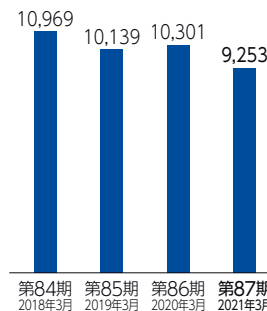
建築土木関連市場売上高

(単位:百万円)



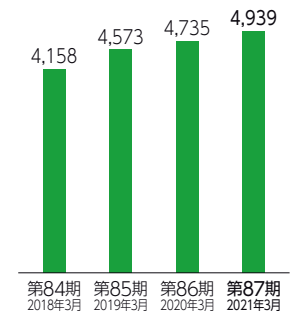
工業関連市場売上高

(単位:百万円)



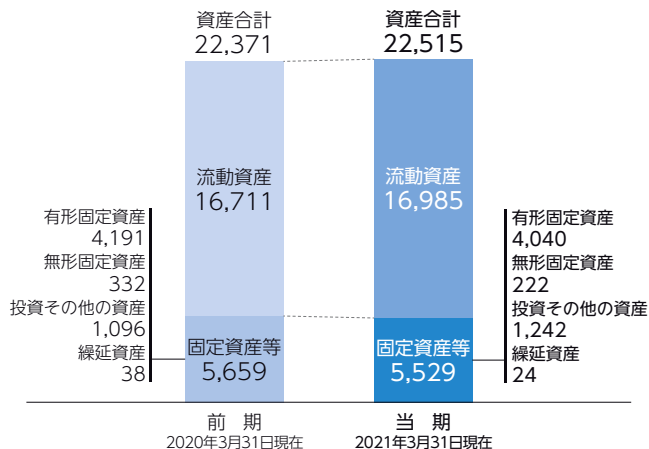
一般消費者関連市場売上高

(単位:百万円)



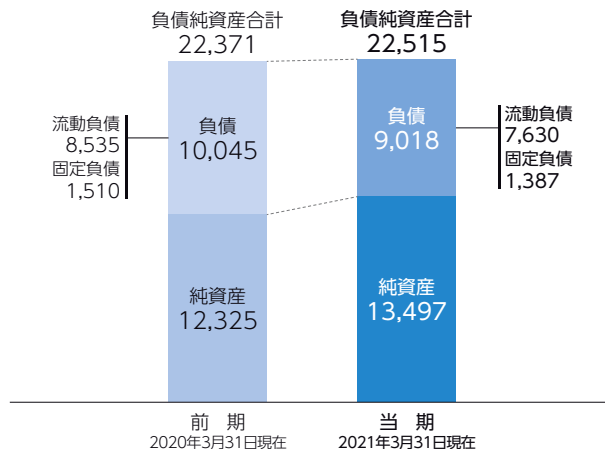
■資産の状況

(単位:百万円)



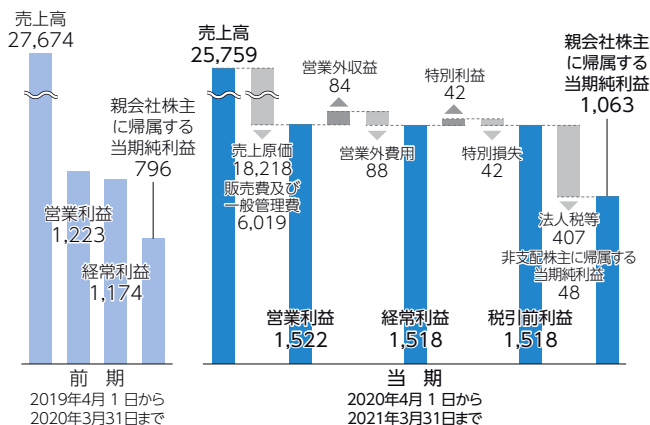
■負債純資産の状況

(単位:百万円)



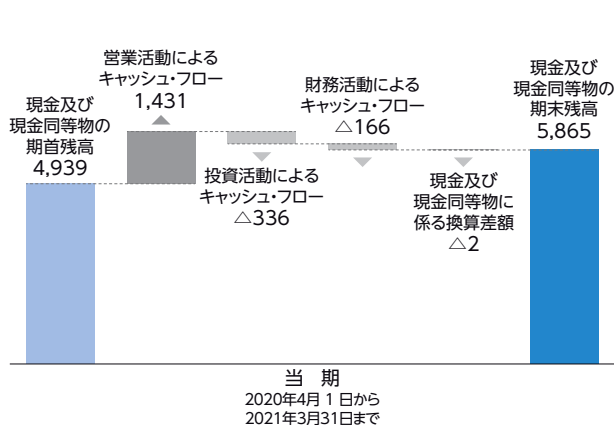
■連結損益計算書

(単位:百万円)



■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



POINT
1

売上高

一般消費者関連市場でホームセンター向けの売上が増加しましたが、建築土木関連市場及び工業関連市場では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う新設住宅着工戸数及びリフォーム需要の減少や、年度前半における自動車メーカーの減産などの影響により売上が減少しました。これらの結果、当連結会計年度の売上高は25,759百万円(前期比6.9%減)となりました。

POINT
2

営業利益

材料等の仕入価格の引き下げや更なる原価低減に努めたほか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い営業活動経費等が減少したことから、営業利益は1,522百万円(前期比24.4%増)となりました。

株主様 ひろば

株主の皆様には、平素よりセメダインをご支援いただき、誠にありがとうございます。当社は、日頃のご支援に対する感謝の印として、また当社製品へのご理解を深めていただくため、当社製品を中心とした優待商品をお贈りする株主優待を実施しております。皆様には優待の申込と同時にアンケートにもご協力いただいておりますが、昨年戴きましたご意見の一部とともに、関連する情報を紹介させていただきます。

ご意見 1

「着るセメダイン」または「電気を通す接着剤」はその後どうなったのか？

2016年に、当社の導電性接着剤を布地に塗布して電気回路を形成し、光を纏う着物として「着るセメダイン」を発表しました。またこの導電性接着剤は、身に着けられる様々な機器の可能性を拓くとしてテレビ番組でも紹介されました。現在は、当社の導電性接着剤は電子機器の分野で実際に採用されており、製品内に使用されて世の中に出ています。当社ホームページにも導電性接着剤を掲載しております。

ただし、量販店等で一般に販売してはいませんので、今のところ皆様が直接目にする機会はあまりないと思われます。

導電性接着剤に関する当社ホームページと2次元コード

<https://www.cemedine.co.jp/technology/elastic/sxeca/sxeca48.html>



ご意見 2

「オリジナルグッズ」「接着剤のフィギュア、ストラップなど」を優待商品として希望する。

この5月より、当社製品(全5種)のミニチュアキーチェーンがカプセルトイ(いわゆるガチャガチャ)として全国で販売されています[300円]。今年の優待商品にもこれを採用いたしました。ただし、数に限りがございますのでお1人様1点とさせていただきます(種類は選べません)、それ以上ご希望の方はぜひ、カプセルトイをご購入くださいますようお願いいたします。



引き続きアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

会社概要・株式情報 (2021年3月31日現在)

会社の概要

商号	セメダイン株式会社 (CEMEDINE CO., LTD.)
本社	〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー
設立	1948年4月22日 (創業1923年11月)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場2部)
資本金	30億5,037万5千円
従業員数	350名
主な事業内容	接着剤・シーリング材・粘着剤・特殊塗料・ コーティング剤及びその加工品の製造販売 接着及び防水等に関する施工及び請負
主要取引銀行	三菱UFJ銀行 / リソな銀行 / 三菱UFJ信託銀行

取締役及び監査役 (2021年6月16日現在)

代表取締役会長	松本 有祐	
代表取締役社長	天知 秀介	
取締役	大津 功	営業本部長
取締役	秋本 雅人	技術部長
取締役	飯田 秋彦	管理部長
取締役	塩田 裕啓	SCM部長兼生産部長
社外取締役	及川 隆夫	
社外取締役	小町 千治	
監査役 (常勤)	堀江 康信	
社外監査役	細野 幸男	
社外監査役	渡辺 政宏	
社外監査役	水川 聡	

株主メモ

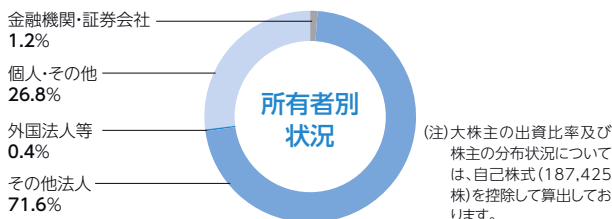
事業年度	4月1日～翌年3月31日
利益配当金受領株主確定日	3月31日・9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場2部)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL (https://www.cemedine.co.jp/) (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	15,167,000株
株主数	3,893名

大株主 (出資比率1%以上)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (株)	出資比率 (%)
株式会社カネカ	8,218,700	54.9
セメダイン共栄会	1,387,300	9.3
日本ウイリング株式会社	510,000	3.4
株式会社LIXIL	300,000	2.0
アジアケンディジャパン株式会社	205,000	1.4
三木産業株式会社	200,000	1.3
セメダイン従業員持株会	160,740	1.1



(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

キーワード
で知る
セメダイン

KEYWORD»

セメダイン「B」

80年前のセメダイン「C」の発見がネットで話題になってから1カ月ほどたった2020年9月の終わり。新たなニュースがセメダインを駆け巡ります。幻の接着剤セメダイン「B」が見つかったのです。

セメダインには、お馴染みのセメダイン「C」のほかに、「A」と「B」が存在しました。

しかしどちらも、セメダイン社内でも謎につつまれた存在で、現物はもちろん、資料もほとんど残っておらず、セメダイン「B」については、五十年史の中に1行だけ「戦前・戦時中、「C」と同時期に売られていた」との記述のみでした。

事の起こりは、セメダインに届いた1通のメールでした。なんと、セメダイン「B」をお持ちだということです。メールをくださったのは、福岡県にお住いの男性。10年ほど前にネットオークションで落札した昭和初期のラジオ部品キットのなかに、見慣れない接着剤セメダイン「B」が入っていたそうです。貴重なものではないかと捨てずに保管していたところ、偶然、この度の戦前の「C」発掘のネットニュースを見て、セメダインにご連絡をくださいました。さらに驚くことに、発見されたのはセメダイン「B」だけではなく、セメダインの名前の由来にもなったとされるイギリス製の接着剤「メンダイン」の実物もお持ちだということです。メンダインは、セメダインの創業当時(1923年)、日本で広く流通していた舶来品です。このメンダインを国産品で市場から「攻め(セメ)出す」という意味で、「攻め出せ、メンダイン」→



「セメダイン」と名がついたともいわれています。かつて販売されていたことは確かであり、社内では誰もが知っている、しかし誰も実物は見たことがないという、まさに都市伝説的存在でした。

そんな幻といわれた2つの接着剤が、持ち主さまのご厚意によって、セメダインに届けられ、セメダイン「B」は数十年ぶりに里帰りを果たします。驚くことに、手元に届いたセメダイン「B」とメンダインは、ラベル書きを目視できるほどキレイな保管状態でした。

ネットで戦前のセメダイン「C」発見のニュースが拡散していなければ、このセメダイン「B」とメンダインは、このまま忘れられ、やがて廃棄されていたかもしれません。まさしく、インターネットコミュニケーションがつかない奇跡と呼べる素晴らしい出来事でした。

なお、この一連の盛り上がりを受け、幻のセメダイン「B」が、キーホルダーとして復活いたしました。当社他製品と共に、カプセルトイ『セメダイン ミニチュアキーチェーン』(全5種類)として販売いたしますので、ぜひゲットしてください。

セメダイン株式会社

本社：〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー Tel:03-6421-7411



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。